

## 第1回富良野市地域ケア推進会議 会議録 17時05分～17時58分

### 1. 開 会 司会 井口課長 17時05分

それでは定刻になりましたので、只今から第1回富良野市地域ケア推進会議を開催いたします。本日はお忙しい中、本会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

私は本日の司会を務めさせていただきます井口でございます。どうぞよろしくお願い致します。

本日、岡本委員におかれましては、所用のため欠席とのご連絡をいただいております。また、本日傍聴される方が1名いらっしゃいますので、ご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして小山内会長よりご挨拶をお願いいたします。

### 2. 会長挨拶 小山内会長

本日は、お忙しい中、この会にお集まりいただき、大変ありがとうございます。地域包括ケアに関していえば、今、地域医療に関していろいろな問題が出てきています。在宅医療を始めいろいろな問題点を話し合う中で詰めていき、地域医療全体の質の向上、地域医療の向上を進めていくための一つの会にできたらと思っています。

みなさんの発言を参考にさせていただきたいので、よろしくお願いいたします。

#### 事務局：

どうもありがとうございました。

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。先日送付しています「第1回富良野市地域ケア推進会議次第」、「第7期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画平成30年度の実績と評価」、「4. その他【今後の予定】」です。お手元になれば事務局にお申し出ください。

それではこれからの進行は小山内会長にお願いします。

### 3. 議 題 進行 小山内会長

#### 小山内会長：

それでは富良野市地域ケア推進会議を始めたいと思います。

#### (1) 地域包括ケア推進に関すること

第7期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における実績について、事務局からの説明をお願いします。

#### 事務局説明（資料参照）：

説明者 堀口介護企画係長 P.1～P.19

説明者 木村地域包括支援センター係長 P.20～P.22(5)まで

説明者 堀口介護企画係長 P.22(6)～P.23

説明者 頓所介護保険係長 P.24～P.27

説明者 堀口介護企画係長 P.28～P.31

説明者 井口課長 P.32～P.40

小山内会長：

どうもありがとうございました。

ただいま事務局から「第7期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実績について」ご説明がありました。

これに対してご意見等ございませんか？

(質疑応答 17時33分～17時54分)

①小山内会長：

未利用の方の介護度について、どのような方なのか。

事務局：

P.10 未利用について、要支援1～要介護1, 2で軽度の方です。最初、住宅改修等で申請をされ、その後利用がされない方がいます。更新時に介護利用の必要がなければ必要になった時に申請をしていただきたいと声かけをしているものの、更新手続きがなされています。介護サービスが必要になった時に使ってもらうPRは必要だと考えています。

②山田委員：

P.38 老人クラブ会員でことぶき大学にも加入している人はどのくらいいるのか。

事務局：

次回の会議までに確認しておきます。

山田委員：

高齢者の公共施設使用料の減免等について 組織の人数が少なくなっていく中で、使用料の負担が大きいので、条例の見直し等で減免を考えていただきたい。他の自治体では老人クラブが利用するときは無料のところが多い。富良野は使用料がかかるので老人クラブの負担が大きくなっている。

事務局：

市民協働課が担当になりますので、今いただいたご意見を庁内会議で伝えていきます。

③菅野委員：

P.4 要介護認定者の推計と実績について、今後増加する要介護者の施設入所について、北の峯ハイツが要介護3～5の方が入所できますが、スムーズに入れるような対応を考えなくて良いのか。

事務局：

第7期計画の際、施設の数及び入所の人数について、今後の施設を増やす必要はなく、入所員数も増えることはない目安を立てています。ただ、第8期計画の中で再度検討は必要と考えます。現在の北の峯ハイツの入所判定の会議の中で、申込みされて順番が来ても入所の見送りをしたり、医療の必要があって施設に入所されないケースもあります。実際に早急に入所が必要なケースについては、Sランクに位置づけ早めに入所できるような対策をとっています。入所できなくて家族が困っているケースはいないと押さえています。

福永委員：

実際には在宅で待機している方の数は年々減り、待機場所がグループホームや療養型と、どこかの施設で待機しています。どうしても緊急を要する方については、Sランクで緊急対応は可能となっています。待機者がたくさんいることには間違いありませんし、今後数が増えていくことも推計的には見られます。今後どのように待機者数が増えるのか、現在、待機者数の大きな変動はありません。

一番問題なのが職員です。職員が確保できないと定員数120名の受け入れができず、緊急性を高い方の受け入れが難しくなることは否めません。

菅野委員：

施設の従業員のことについては、この会議とは別なことかもしれませんが、どの施設も職員の人手不足が表面化している中で、計画の推計と現実のはざまが出来たときの対応についてどうするのか。

事務局：

P.40 商工観光課の労働力不足への対応でUターンの方への住宅助成や高齢者福祉課ではH31から初任者研修、実務者研修の事業所が持つ負担への助成を行っています。人材確保については事業所へ市も応援するというかたちで人材確保を始めています。

外国人の人材確保についても、東川町の協議会に会員として加入し、今後の外国人労働者の向かい入れの検討も行っています。市としても人材確保については事業所と協力しながら進めていきたいと考えています。

**菅野委員：**

東川町が人材確保について力を入れているのは、テレビ報道で知っています。富良野市も人材確保について十分に考えていただき、高齢者の家族が安心できるようよろしくお願いします。

**④草野委員：**

P.38 高齢者の交通安全対策について、「安全運転支援車試乗体験会」はサポート機能がついた車に試乗していただくということだと思いますが、参加の促し方や参加状況について教えてください。

**事務局：**

確認して次回報告させていただきます。

**草野委員：**

認知症や高次機能障害があって運転に難点が残って現実を受け入れない状況や、まわりの家族もどうサポートしたらよいかが課題だと思いますので、より充実した取組になればと思い質問させていただきました。

**草野委員：**

P.40 シルバー人材センターの会員について、会員の方が高齢化していくので、次の世代の新規入会状況について教えてください。

**事務局：**

平均年齢が横ばいなので、新規の入会もあります。

**草野委員：**

ボランティアや生活支援のサービスについて、ヘルパーには頼めない多様化するサービス提供がシルバー人材会員の減少で柔軟に対応できなくなるのではないかと心配があります。P.36 ゴミを持ち出すことが困難な高齢者の支援で、ごみをステーションまで排出するという支援を試行的に行っているかと思いますが、今後分別についてはどう対応していきますか。

事務局：

ボランティアとのマッチングについては、ご相談が出てきた時に行います。基本的には介護保険サービスやその他自費で行っていただいています。それでも対応ができないケースにはボランティアということになります。分別となりますと介護保険サービスに入った時、又は今まで民生委員さんに相談で対応が終わっているかと思えます。

草野委員：

P.29 給付制限の内容について、差し支えなければ2名の滞納された方の理由について教えてください。

事務局：

この2名の方については、生活困窮という理由ではなく、介護の世話にならないからという理由で滞納されています。

小山内会長：

その他何かありませんか。

それでは、これで計画における実績を確認しました。

#### 4. その他

##### (1) 今後のスケジュールについて 井口課長説明

1月に第2回地域ケア推進会議を予定しています。この際は、来年度第8期計画の策定の年となりますので、そのアンケート内容の提案をさせていただき、ご意見を踏まえて、3月の第3回地域ケア推進会議でアンケートの内容を決定していきたいと考えています。

また、委員のみなさんの任期は令和2年3月末となっていますので、関係機関のみなさまには再度推薦いただき、公募の委員のみなさんについては、また1月で公募をしていくかたちになっています。引続き委員を担っていただく方は、よろしく願いいたします。4月以降については、新しい委員の中で進めていきます。

～スケジュール読み上げ～

令和3年2月20日をめどに第8期計画の最終案をまとめていきたいと考えています。庁内検討会議を同時に開催し、先ほどご質問をいただいた内容の確認と、検討事項をお知らせしていきます。次回1月の際に今回ご質問の内容について報告させていただきます。

以上でございます。

5. 閉 会 小山内会長

はい、ありがとうございました。

最後になりますけど、今日全体をとおして再度ご質問ご意見はございませんか。

無いようですので、これで第1回地域ケア推進会議を終わらせていただきます。

本日はどうもご苦勞様でした。

17時58分終了